

令和4年度学校評価一覧(前期)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てる地域に根ざしたたふるさとキャリア教育の充実	発想力を高め、つながりを強めて、共感的協働力・実践力を育てる ～たけのこの里でぐんぐん伸びる たけのっ子 T・T・Sで確かな学力を～ つながり たしかめ シンカする	評価区分(達成度) きわめて良好(100%以上) 良好(80%以上達成) おおむね良好(60%以上) やや不十分(60%未満) 努力を要する(40%未満)
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上		
	◇夢を支える豊かな心の育成		
	◇夢を支えるたくましい体の育成		

大館市立山瀬小学校 人間の基礎力・キャリア教育(未来・大館市民実践力の育成)	評価項目		自己評価A	学校関係者評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I	自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもった挨拶と落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごとの「挨拶運動」、小中連携「挨拶運動」、運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代を担う田代の子～夢の実現に向けての自立プラン～」の徹底
II	思いやりの心 たくましい心	自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	良好	良好	2 夢に向かって努力する資質能力の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) ・「たけのこプロジェクト」(和紙づくり用にたけのこの皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	3
					3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・授業での振り返りの実施・互いを認め合う学級づくり・掃りの会での「今日の○○さん」の紹介	4
						(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学団)交流・人権の花運動	4
III	健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	・業間等の体力づくり(マラソンタイム、なわとびギネス) ・新体力テストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4
					(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送)・食育タイム・手洗いの励行 ・歯磨き教室・健康花丸チェック	3	
IV	基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	おおむね良好	良好	5 確かな学力の育成	(8) 基本的な学習習慣の徹底	・「次代を担う田代の子～学習の約束～」の徹底・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会)	3
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等)・個に応じた指導の工夫(TT)・聞き方、話し方の強調月間の設定	3	
					(10) つながりを強めて、主体的に学び合う学習指導の充実	・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのっ子タイム)の設定と充実	3	
V	安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団下校指導、避難訓練(地震、不審者)、防犯教室、交通安全教室等の実施 ・生徒指導部だより「すこやか通信」の発行・地区児童会(危険箇所確認等)	4
					(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 ・引き渡し体制の整備(引き渡しカードの更新)・危険箇所確認及び看板設置、街頭指導	4	
VI	保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便り(学校報、学年通信、保健便り等)の発行、HP ・行事等におけるメール配信	4
					(14) 地域の「もの・ひと・こと」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園活動、田植え、舞茸栽培、たけのこの皮集め、藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、クラブ活動、ブルタブ・アルミ缶回収等)	4	

ア
児童の状況

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期	おおむね良好	子どもたちのヒアリングから自分たちの良いところは挨拶と言っていた。地域ではそうでもないとのことだが、学校では最高に頑張っているのだと思う。地域に出ても挨拶できる、明るさを振る舞ってくれることを子どもが意識して取り組むこと、先生方が捉えている課題の克服に向けて取り組んでもらいたい。「たけのこプロジェクト」では、子どもたちが成果を感じるのはこの後だということなので、目標に向かう力を伸ばしてほしい。
	年度		

と学校校評の価改の善概要

【前期(→年度)】○挨拶運動の取組によって、朝の玄関前や校内での挨拶はよいが、地域によっては学校外での挨拶が足りないとの声があった。昨年度も同じようなことがあり、地域の人たちへ場に応じた挨拶ができるように、集会でロールプレイング的な取組を行ったが、今年も2学期に実施したい。廊下歩行については、運営委員会による「廊下歩行運動」の後、落ち着いた歩行できるようになってきたので継続させたい。○児童一人一人の目標を掲示しているが、学期ごとの具体的な目標を設定し、それに向かって努力させたい。2学期も収穫活動やたけのこの和紙作り等で、地域の教育力を活用し、つながりを強めた活動を充実させながら目標に向かう力を育んでいきたい。

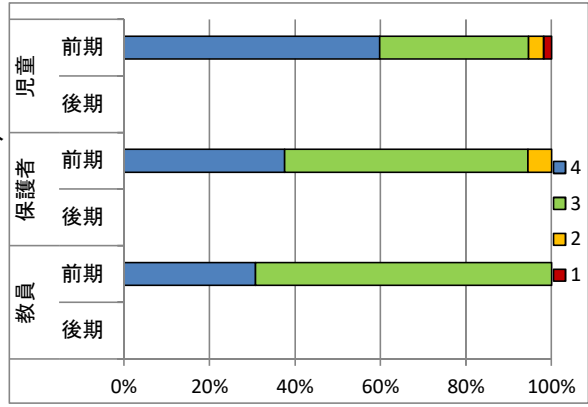
【年度(→次年度)】

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	後期
1 基本的生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中合同の各「挨拶運動」、運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の徹底	3	
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	3	

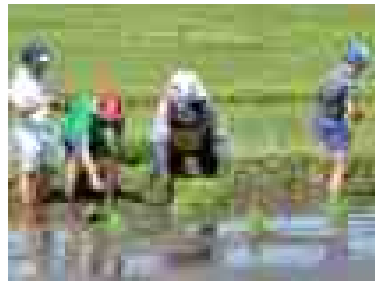
【各種データ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項

- [1]に関するデータ
- ★ 児童会による挨拶運動の実施
 - ・児童会と学年ごとの挨拶運動 5月、9月 ◎「あなたは、明るく元気で心のこもった挨拶ができ、落ち着いた学校生活をしている。」
 - ・児童会による学年二人ずつの挨拶名人の紹介
 - 「すこやか集会」での運営委員会による「爽やかな挨拶」の呼び掛け
 - ★ 田代地区小中連携挨拶運動 6月
 - 中学生と一緒にの挨拶運動
 - (次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)
 - ★ 運営委員会による廊下歩行運動→安全で落ち着いた校内生活へ
 - ★ 職員全体で児童への挨拶、廊下歩行等の言葉掛け

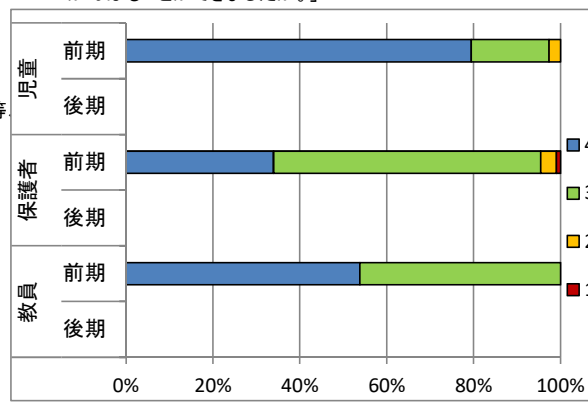
※すこやか集会で、挨拶の仕方を呼び掛ける運営委員会




- [2]に関するデータ
- ★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)
 - 職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示
 - ・顔写真と一人一人の夢の掲示、めあてカードの掲示等
 - 行事や委員会・係などと関連させた取組
 - ・毎月の月目標設定(学団ごと)
 - ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:運動会、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー
 - 「たけのこプロジェクト」の推進
 - ・和紙作り用にたけのこの皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等
 - 地域の教育力を活用した体験活動



※赤川資源保全隊の皆様のご指導による5年生の田植え(赤川地区)



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心して学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	良好	良好	ヒアリングで生徒指導主事の方から不登校が0ということで、ここに「つながり」とか「思いやり」が出ていていると思う。花丸ニュースや縦割り班の活動、ヒアリングでは6年生が下学年をフォローしていたが、日々の生活の中で下学年の面倒を見ることをやられている。スポ少や宿題、共働き等で家庭で読書する時間が難しいようだが、読書に対する興味・関心を高める取組をお願いしたい。
	年度			
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】○定期的ないじめアンケートや全職員での子ども観察から、児童の実態把握に努めている。各学級では、子どもが安心して学校生活を送れるよう、お互いのよさを認め合う活動をしている。また各学級で「道徳コーナー」を設置しながら、道徳科の指導の充実を引き続き図っていきたい。○縦割り活動の集団登校で5・6年生の班長が1・2年生の面倒をよく見てくれる姿が目立った。また人権の花運動の協力校として、花や作物を育てる活動を通して、思いやりの心の育成に努めていきたい。○学校では、昼学習の時間を設定し、読書や読み聞かせを行っている。また、週末に本を借りて家庭で読書する「うち読」を行っているが、スポ少等で忙しい児童もあり、学校で少しでも読書できる時間を確保していきたい。			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B
3 思いやりの心の育成	(3) 自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実		・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	前期 4 年度
	(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進		・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流・人権の花運動	4
	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実		・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書の設定・昼読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	3
【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項				
[3に関するデータ] <ul style="list-style-type: none"> ★児童観察と教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート後の個人面談 ・長期休業中の全保護者との個人面談 ★児童を語る会・特別支援委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携 ★道徳科の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置 ★互いに認め合う学級づくり <ul style="list-style-type: none"> ・授業での「振り返り」の発表後の認め合い ・善行をお互いに認め合う、帰りの会での「今日の○○さん」の紹介 [4に関するデータ] <ul style="list-style-type: none"> ■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している」 ◎ 「あなたは、友達と協力しながら、縦割り班活動に取り組むことができましたか。」 ◎ 児童→ 十分達成(87%) おおむね達成(11%) やや不十分(2%) 不十分(0%) ■ 保護者→ 十分達成(42%) おおむね達成(55%) やや不十分(3%) 不十分(0%) □ 教員→ 十分達成(38%) おおむね達成(62%) やや不十分(0%) 不十分(0%)				
★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例 <ul style="list-style-type: none"> ○花丸ニュース○縦割り清掃活動○ペットボトルキャップ、プルタブの回収○大館市子どもサミットへの参加○人権の花運動 ○児童会による「いじわる0運動(標語募集)」○ふるさとを歩こうデー○異学年交流授業(学団) [5に関するデータ] <ul style="list-style-type: none"> ★読書の奨励 <ul style="list-style-type: none"> ・読書カードの活用、昼読書の時間の設定(図書室活用)、家庭での読書の奨励と設定(うち読) ・読み聞かせ会の実施(図書委員会・たしるどリームライブラリー) ■ □ 「子どもたちに読書の習慣が身に付いている。」◎「すすんで読書ができましたか」				
※たしるどリームライブラリーの皆様による「読み聞かせ」の実施(月1回)				
				

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	子どものヒアリングからマラソンタイムを頑張っているとのこと、体を動かすことが好きな子が多いのではないか。先生からのヒアリングで「健康花丸チェック」の就寝時刻に間に合わない子が結構いるようである。必要な睡眠時間を確保することが大事であり、子どもや共働きの家庭の実態に合った就寝時刻になるよう、検討してほしい。
	年度		
と学校評価の価値の概要	<p>〔前期(一年度)〕〇5月の運動会に向けて、持久走練習や短距離走に意欲的に取り組むことができた。運動会後は「ふるさとを歩こうデー」に向けての体力向上として、マラソンや「やませっ子なわとびギネス」に業間の時間挑戦し、なわとび運動もがんばることができた。昨年度の新体力テストの結果から、県平均並みの体力があり、さらに向上できるよう取り組んでいきたい。〇1学期は養護教諭による歯磨き教室を全学年に実施できた。また、栄養教諭による「食育タイム」で食育指導を定期的実施し、2学期も継続する予定である。またメディアコントロール週間を設定しながら、電子メディアの適切な使用時間や望ましい生活習慣形成を図ってきたい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	後期
4 健康と体力の向上	(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 業間等の体力づくり 新体力テストに向けた取組と実施 体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施 	4	
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> 食に関する啓発活動 手洗いの励行 食育タイム・歯磨き教室 手洗いの励行・健康花丸チェック 	3	

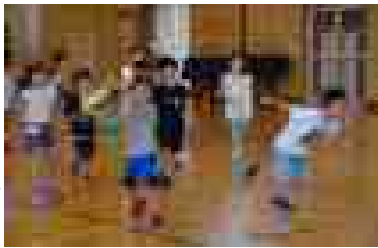
〔各種データ〕 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[6]に関するデータ

★ 体力づくりの取組

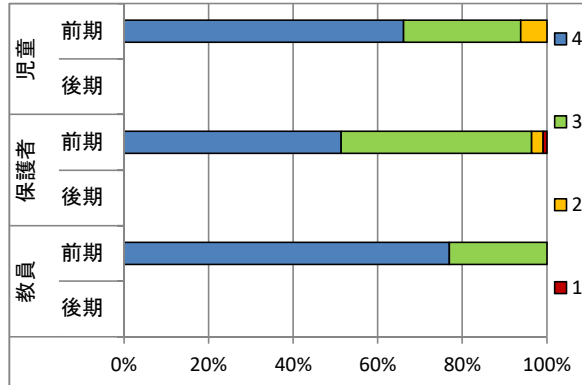
- 〇マラソン運動、やませっ子なわとびギネス～業間で実施
- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体力テストに向けた体力向上を図る体育学習
- ・体育委員会による学年対抗遊びドッジボール大会の実施

※学年対抗遊び
1・2年ドッジボール大会



■ □ 「子どもたちは外遊びやスポーツに親しみ、体力づくりに努めている。」

◎ 「あなたは、体育の時間や業間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」



★ 新体力テスト

- 〇実施日 ・5月中旬～6月上旬
- 〇実施種目
 - ・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
- 〇実施結果の配付(個人票) 1学期

<昨年度の体力テストの結果>

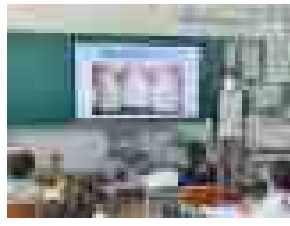
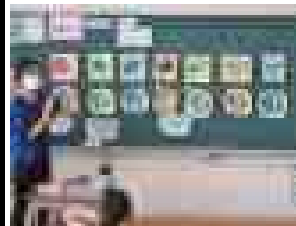
R3新体力テスト	学年	現小2	現小3	現小4	現小5	現小6
県平均を100としたときの指数	体力得点 男	87.6	104.7	120.5	108.5	108.5
	体力得点 女	90.8	96.1	111.3	107.4	111.3

※3年度の体力テストの結果からは、特に高学年が良好である。今年度の結果は年度末であるが、体力の向上を図る取組を継続していく。

[7]に関するデータ

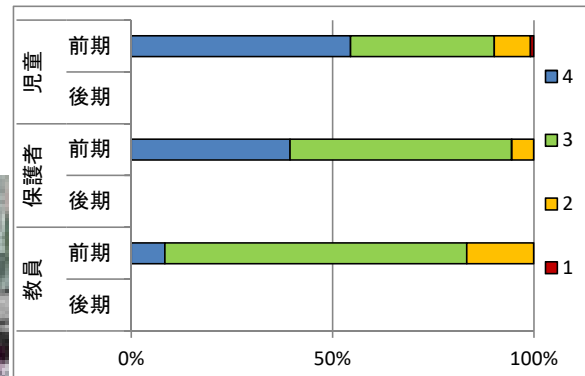
- ★ 栄養教諭との連携を図った食指導の実施(食育タイム・家庭科)給食指導のめあての設定と掲示(給食だより・食育掲示板)
- ★ 養護教諭による歯磨き教室の実施、長期休業中のカード配布等、保護者と連携しながら指導を進めている。
- ★ 保健委員会による「健康花丸チェック」、新たに昨夜の就寝時刻も取り入れ、早寝早起き等の適切な生活習慣を形成できるよう呼び掛けている。

栄養教諭による食育タイムと養護教諭による歯磨き教室



■ □ 「子供たちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」

◎ 「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」



ア 児童の状況

IV 基礎学力																							
児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント																				
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	良好	授業参観では集中している子どもたちが多く、楽しそうに生きていた。基礎・基本的な学力では、百マス計算を毎週やるようにして力を付けさせてほしい。授業での「つながり」は、1年生から学習ルールが守られていて、楽しそうにやっている。子どものヒアリングからも「話し合いが楽しい」と言っており、「たけのこ子タイム」はいい取組で学び合いができています。																			
	年度																						
と学校 学校評 の価 改の 善概 策要	【前期(一年度)】○新年度初めに「基本的な学習態度」を重点的に指導し、学習規律の徹底を図りながら、家庭と連携し家庭学習を継続する等、基本的な学習習慣が身に付いてきている。今後も家庭と連携しながら望ましい学習習慣の定着に向けた取組を継続していきたい。○朝学習や繰り返し学習の継続により、基礎・基本的な学力が定着してきている。今後も授業や朝学習等で、学年ごとに必要な学力を確実に身に付けさせたい。○課題解決型の授業では、特に高学年は児童が学習リーダーとなり、友達と話し合いながら、自分たちで解決する授業を行っている。今後も児童がつながりを強めて、主体的に学び合う授業に取り組んでいきたい。																						
	【年度(一次年度)】																						
5 確かな学力の育成	実践課題		主な取組	学校評価B																			
	(8) 基本的学習習慣の徹底		・「次代を担う田代の子～学習の約束～」の徹底 ・学習環境の整備・家庭学習の習慣化	前期	年度																		
	(9) 基礎・基本的な学力の定着		・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫・聞き方、話し方の強調月間の設定	3	3																		
(10) つながりを強めて、主体的に学び合う学習指導の充実		・基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこ子タイム)の充実	3																				
【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項																							
[8に関するデータ]																							
★学習指導部・研究部による計画的な取組																							
○「学習の約束」の徹底																							
・「次代を担う田代の子～学習の約束～」と月別重点目標による学習訓練の徹底																							
○家庭学習の習慣化																							
・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の配付																							
・自学紹介コーナーの設置とノート展の実施																							
・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定																							
○学習環境の整備																							
・「話し方・聞き方名人」																							
・「やませっ子学びのスタイル」																							
・「声のものさし」																							
※発表した友達を見て、さらに発表へ																							
																							
 <table border="1"> <caption>「学習の約束」の徹底に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>前期</th> <th>後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>40%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	前期	後期	児童	40%	10%	保護者	40%	10%	教員	20%	10%						
対象者	前期	後期																					
児童	40%	10%																					
保護者	40%	10%																					
教員	20%	10%																					
[9に関するデータ]																							
★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況																							
○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用																							
・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート																							
・ミニテスト等																							
○各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施																							
○個に応じた指導の工夫(算数TT)																							
○話し方、聞き方の強調月間の設定(5・6月)																							
<table border="1"> <caption>全国学力学習状況調査結果(平均正答率)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>理科</th> <th>結果から見た状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山瀬小</td> <td>77</td> <td>65</td> <td>70</td> <td rowspan="3">全国の平均を上回り、秋田県平均とほぼ同等であり、よい状況にある。</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>71</td> <td>66</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>65,6</td> <td>63,2</td> <td>63,3</td> </tr> </tbody> </table>							国語	算数	理科	結果から見た状況	山瀬小	77	65	70	全国の平均を上回り、秋田県平均とほぼ同等であり、よい状況にある。	秋田県	71	66	71	全国	65,6	63,2	63,3
	国語	算数	理科	結果から見た状況																			
山瀬小	77	65	70	全国の平均を上回り、秋田県平均とほぼ同等であり、よい状況にある。																			
秋田県	71	66	71																				
全国	65,6	63,2	63,3																				
[10に関するデータ]																							
★「主体的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組																							
○つながる場(たけのこ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)																							
																							
※黒板の前に集まり学び合い(つながる場)																							
 <table border="1"> <caption>「主体的に学び合う学習指導の充実」に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>前期</th> <th>後期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>40%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>40%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>教員</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	前期	後期	児童	40%	10%	保護者	40%	10%	教員	20%	10%						
対象者	前期	後期																					
児童	40%	10%																					
保護者	40%	10%																					
教員	20%	10%																					

イ
学校運営
の状況

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	学校評価Bの評価基準	5 4 3 2 1	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著 目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる 目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる 目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない 目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い
--------------------	---	------------	-----------------------	--

V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期 良好	良好	学校から「こまや旅館」付近に横断歩道設置の要望を市教育委員会にしているのは有り難い。子どもたちは、夏休み中もみんなヘルメットをかぶって自転車に乗って安全意識が高い。先生方の評価が厳しい感じもする。子ども110番の家が機能しているのはよい。
と学校評価の価値の善概要	年度		

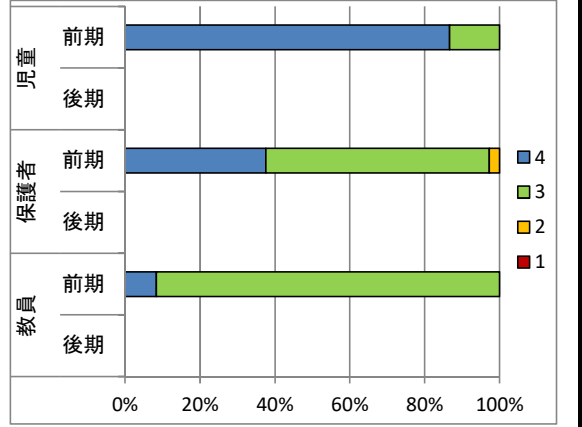
【前期(一年度)】〇集団下校指導や交通安全教室、避難訓練等で、具体的な安全指導を実施してきた。今後も特に道路に飛び出しをしない、安全な自転車走行をしっかりとできるよう、集会等を活用しながら指導を継続していく。〇PTA生活環境部やスクールガードリーダー、民生委員等の関係機関と連携しながら、安全な環境づくりに努めてきた。今後も児童や保護者、地域の安全に関する声を聞きながら、熊対策も含めて児童の安全確保に取り組んでいきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	後期
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団下校指導、避難訓練(地震、不審者)、防犯教室、交通安全教室等の実施 ・「すこやか通信」の発行	4	
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携・引き渡し体制の整備・危険箇所看板設置、街頭指導	4	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[11に関するデータ] ■ □ 「子供たちに安全への意識が育っている。」
◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

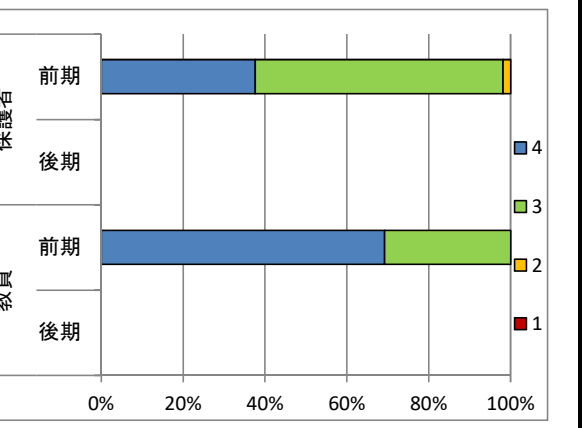
- 【取組の具体例】★安全意識の高揚
- 〇通学路の歩き方と危険箇所の確認
 - ・4月の集団下校指導 で通学路、歩き方の確認
 - ・安全意識を高める集会での指導(定例会・夏休み前集会)
 - 〇交通安全教室
 - ・4月18日 ・1～2年安全な歩行 ・3～6年自転車の乗り方
 - 〇避難訓練
 - ・地震想定避難訓練 5月20日～地震発生時の避難の仕方
 - ・不審者対応避難訓練 6月3日～不審者対応時の避難の仕方(防犯教室)
 - ・保護者への引き渡し体制の整備(引き渡しカード更新 *引き渡し訓練休止)
 - 〇生徒指導部だより「すこやか通信」の発行
 - ・自転車の乗り方
 - ・GWの過ごし方
 - ・夏休みの暮らし方
 - ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組



※交通安全教室
安全な自転車走行

[12に関するデータ] ■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

- ★PTAやスクールガードリーダー等の連携
- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの安全指導
 - ・生徒指導主事による集団登校現場指導
 - ・巡回指導の留意点や最近の状況などについて情報交換
 - ・夏休みの過ごし方について民生委員と情報交換
 - ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置
 - ・市教育委員会と通学路安全点検
 - ・子供110番の家の確認



※防犯教室でのスクールガードリーダー小林様からの指導



イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

児童の状況	学校評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	情報発信について、学校報は町内回覧がきている。学校からの細かい情報はメールでお知らせしてもらっている。(14)は、いろんな地域の方に助けていただいているので継続してほしい。農園活動の収穫を期待しているが、先生方があまり負担を感じないような取組をお願いしたい。
	年度			
学校の評価改善の概要と	【前期(→年度)】○学校だよりや学級通信を定期的に発行し、学校や児童の様子、行事等での活躍をお知らせしている。また、行事に関することや緊急連絡は学校からメール配信をしてお知らせしてきた。今後も保護者の不安等をなるべく早く解消できるよう、メール配信を有効に活用していきたい。○今年も地域の「もの・ひと・こと」を活用した体験活動を保護者、地域の皆様のおかげで実施することができた。2学期は農作物の収穫があり、コロナ感染対策をしながら、できるだけ地域の素材、人材を生かしたふるさとキャリア教育を推進していきたい。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便りの発行、HP ・行事等におけるメール配信	4	
	(14) 地域の「もの・ひと・こと」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	

[13に関するデータ] ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】

★学校からの情報発信、情報交換等

○学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPでも紹介

- ・毎月発行(学校の出来事、来月行事のお知らせ)
- ・行政協力員との連携による学区内配付

○学年だよりの配付

- ・毎週発行(学年の出来事や次週の予定)

○保健だより・給食だよりの配付

○行事や緊急連絡等のメール配信

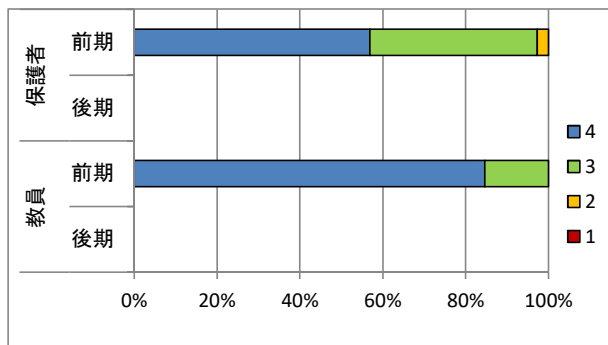
○学校教育アンケートの実施

○OPTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有

○教育相談等による情報交換

- ・年3回の教育相談週間
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
- ・学担による個人面談
- ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、民生員、小・中・保)

■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」



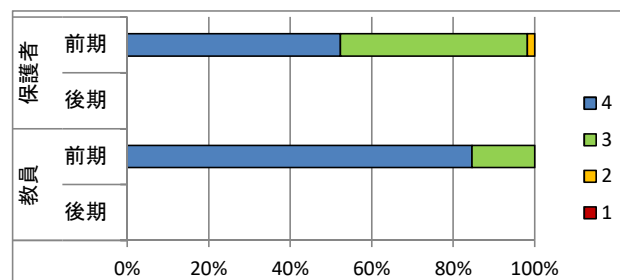
[14に関するデータ]

★「もの・ひと・こと」を生かした体験活動の充実

○地域に根ざしたふるさとキャリア教育

- ・クラブ活動における地元講師の活用(五つのクラブ)
- ・環境整備(農園、校庭等)支援
- ・田代地域学校協働支援チームでの情報交換、支援の依頼
- ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援
- 農園活動(1・2年さつまいも、3・4年とうもろこし、5年田植え、6年舞茸)、たけのこ和紙作り用にたけのこの皮集め、1・2年藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、プルタブ・アルミ缶回収等)

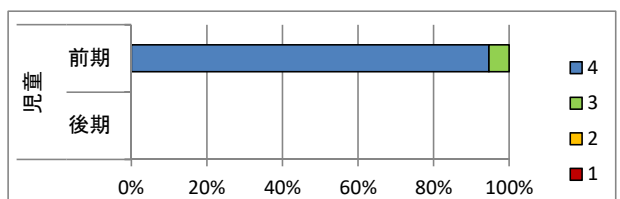
■ □ 「地域の『もの・ひと・こと』を活用した豊かな教育活動が行われている。」



※山田部落会からの御協力を得て、舞茸栽培(6年生)



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えてください、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」



全体コメント

【 学校関係者評価委員のみなさんにいただいた総評です 】

○ 前期学校評価総評

学校関係者評価委員：浅利道博氏・片岡精子氏・小笠原正人氏・佐藤一史氏

☆児童からのヒアリングでは、きちんと夢を語っており、夢を語れる子はすばらしい。また、下学年をきちんとサポートしている6年生の態度がすばらしい。卒業生がそうだったように年々受け継がれている。

☆整然としている環境や子どもたちが認められているので、落ち着いている。また掲示物から、先生方が文字をきちんと書かせている。

☆先生方の授業がすばらしい。子どもたちはしっかり集中して、本当に楽しんで授業をしている。そういうのが学力向上につながっていると思う。掲示物も充実している。1年生からハンドサインや声で自分の意思を示すことが、6年生まで一貫している。

☆授業中、発表者に対する反応言葉があり、それをやってもらうと自己肯定感が上がる。

☆学力面がよいのは先生方のおかげであり、このまま継続をお願いしたい。

☆校舎周りの芝生がきれいで、しっかり管理されている。

★先生方の評価が低いところを今後がんばっていただきたい。

○ 年度学校評価総評